

2023年11月6日

Press Release

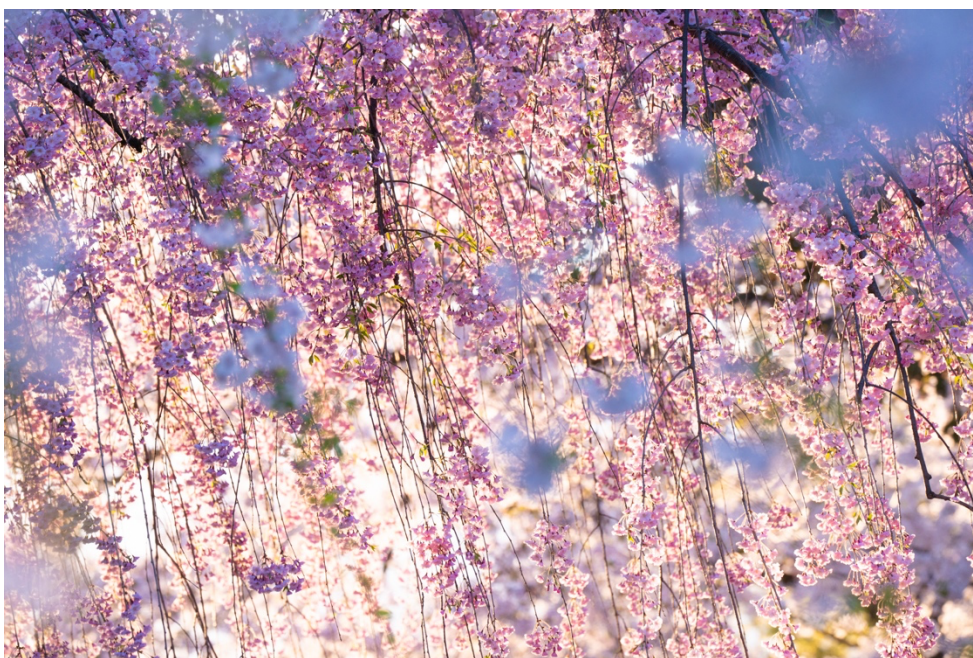
【開催告知】弘前れんが倉庫美術館 2024年度 展覧会 [春夏プログラム]

蜷川実花展 with EiM : ^{はかな} 夢 ^{きら} とも煌めく境界

NINAGAWA Mika with EiM: Where Humanity Meets Nature

会期：2024年4月6日（土）－9月1日（日）

会場：弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）



参考図版 蜷川実花《Untitled》2022年 ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

弘前れんが倉庫美術館では、2024年4月6日（土）から2024年9月1日（日）まで「蜷川実花展 with EiM : 夢とも煌めく境界」を開催します。

本展では、写真家・映画監督の蜷川実花（にながわ みか）が、データサイエンティストの宮田裕章（みやた ひろあき）、セットデザイナーのEnzo（えんぞ）、クリエイティブディレクターの桑名功（くわな いさお）らと結成したクリエイティブチーム・EiM（えいむ）との協働により実現する大規模な個展です。うつろう時間やながれゆく季節の境界を超える壮大なインスタレーションを発表するほか、蜷川がコロナ禍の弘前をはじめ、日本各地で撮影した桜の写真など、初公開の作品を含む近作により構成します。

なお、本展は、当館を含む青森県内5つの美術館・アートセンターを中心に行われる「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」[会期：2023年4月13日（土）－2024年9月1日（日）]の参加企画の一つとして開催されます。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

作家プロフィール

蜷川実花 NINAGAWA Mika

写真家、映画監督。写真を中心として、映画、映像、空間インスタレーションも多く手掛ける。クリエイティブチーム「EiM:Eternity in a Moment」の一員としても活動している。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。2010年Rizzoli N.Y.から写真集を出版。

『ヘルタースケルター』（2012年）、『Diner ダイナー』（2019年）はじめ長編映画を5作、Netflixオリジナルドラマ『FOLLOWERS』を監督。最新写真集に『花、瞬く光』。2023年12月5日（木）より、TOKYO NODE開館記念企画として「蜷川実花展：Eternity in a Moment」を開催予定。

主な個展に、「蜷川実花展」（台北現代美術館、2016年）、「蜷川実花展—虚構と現実の間に—」（日本の美術館を巡回、2018年-2021年）、「MIKA NINAGAWA INTO FICTION / REALITY」（北京時代美術館、2022年）、「蜷川実花 瞬く光の庭」（東京都庭園美術館、2022年）などがある。

<https://mikaninagawa.com>



EiM [Eternity in a Moment]

2022年より活動開始。写真家・映画監督の蜷川実花と、データサイエンティストの宮田裕章、セットデザイナーのEnzo、クリエイティブディレクターの桑名功らで結成されたクリエイティブチーム。プロジェクトごとに多様なチームを編成しながら活動する。主な作品発表に、「胡蝶の旅 Embracing Lights」（安比Art Project、2022年）、「残照 /Eternity in a Moment」（まえばしギャラリー、2023年）、「蜷川実花展：Eternity in a Moment」（TOKYO NODE GALLERY A/B/C、2023年）など。

開催概要

- | 展覧会名： 蜷川実花展 with EiM： ^{はかな}くも ^{きら}煌めく境界
(英語) NINAGAWA Mika with EiM: Where Humanity Meets Nature
- | 会期： 2024年4月6日（土） - 2024年9月1日（日）
- | 会場： 弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市吉野町2-1）
- | 開館時間： 9:00 - 17:00（入館は閉館の30分前まで）
- | 休館日： 火曜日 ※ただし4月23日（火）、4月30日（火）、8月6日（火）は開館
- | 観覧料： 未定
- | 主催： 弘前れんが倉庫美術館
- | 一般問合せ： TEL： 0172-32-8950
- | アクセス： JR 弘前駅より
 - 弘南バス・土手町循環 100円バス「蓬莱橋」下車 徒歩 約5分
 - 徒歩 約20分
 - タクシー 約7分
- | ウェブサイト： <http://www.hirosaki-moca.jp>
- | SNS：
 - Instagram： @hirosaki_moca
 - X(Twitter)： @hirosaki_moca
 - Facebook： @hirosaki.moca

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当: 大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

2023年11月6日

Press Release

【開催告知】弘前れんが倉庫美術館

弘前エクステンジ#06

しらかみのぞきみこう 白神視見考

参加作家：狩野哲郎、佐藤朋子、永沢碧衣

会期：2024年4月6日（土）－9月1日（日）

会場：弘前れんが倉庫美術館、HIROSAKI ORANDO、ギャラリーまんなか、他

弘前れんが倉庫美術館では、2024年4月6日（土）から2024年9月1日（日）まで、弘前エクステンジ#06「白神視見考(しらかみのぞきみこう)」を開催します。

「白神視見考」は、青森県南西部に位置し、弘前市を含む津軽平野を流れる岩木川の源流の地でもある白神山地をテーマに実施するリサーチ・プロジェクトです。狩野哲郎（かのう てつろう）、佐藤朋子（さとう ともこ）、永沢碧衣（ながさわ あおい）の3名のアーティストたちが、それぞれの視点で、作品展示をはじめ、ワークショップやトークイベントなどを実施します。古くから人々の生活を支えてきた川の源となる山々に目を向け、そこに息づく動植物や人々の営みの時間が積み重なる景色に触れることで、いつもの風景が異なるものに見えてくるきっかけとなることを目指します。

本プロジェクトは美術館内のみならず、弘前市内の複数の会場で展示が行われるほか、イベントプログラムも予定しています。また、当館を含む青森県内5つの美術館・アートセンターを中心に行われる「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」[会期：2023年4月13日（土）－2024年9月1日（日）]の参加企画の一つとして開催されます。

「弘前エクステンジ」について

本プロジェクトでは、弘前出身あるいは弘前ゆかりのアーティストや、国内外で活躍するアーティストに、この地域の歴史や伝統文化に新たな息吹を吹き込んでもらうことを目指して、作品制作や調査研究のほか、地域コミュニティと関わるプロジェクトなどを行います。

展示による作品発表だけでなく、トークやレクチャー、ワークショップといったさまざまな参加型プログラムも開催します。「エクステンジ＝交換」という名前が示すように、本プロジェクトはローカル（地域）とグローバル（世界）、つくり手と地域の人々そして鑑賞者といった異なる視点が交差し、ふれあい、交換される場を生み出すことで、新たなアプローチにより地域の創造的魅力を再発見することを目指します。



参考図版 狩野哲郎《1本で複数の木》2021年
Courtesy of the artist photo: Ken KATO



参考図版 佐藤朋子《オバケ東京のためのインデックス 序章》
2021年 ©シアターコモンズ'21 撮影：佐藤駿



参考図版 永沢碧衣《村景》2019年
©かみこあにプロジェクト（秋田）

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

作家プロフィール

狩野哲郎 KANO Tetsuro

1980年宮城県生まれ、神奈川県在住。2007年東京造形大学大学院造形研究科修了。2011年狩猟免許（わな・網猟）取得。生物から見た世界/狩猟/漁業/測量などを軸として国内外でリサーチ/滞在制作を行う。近年の参加企画に「Nordisk Kunstnarsenter Dale / Nordic Artists' Center Dale」（ダール／ノルウェー、2018年）、「アートみやぎ」（宮城県美術館、2019年）、「神山アーティスト・イン・レジデンス」（神山町／徳島、2019年）、「Reborn-Art Festival」（石巻市街地、牡鹿半島ほか／宮城、2021年）など。

佐藤朋子 SATO Tomoko

1990年長野県生まれ、神奈川県在住。2018年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。レクチャーの形式を用いた「語り」の芸術実践を行っている。近年の活動に、「TWO PRIVATE ROOMS-往復朗読」（青柳菜摘と共同、2020年-）、「オバケ東京のためのインデックス」（シアターコモンズ、2021年-）、第14回恵比寿映像祭「スペクタクル後 AFTER THE SPECTACLE」（東京都写真美術館、2022年）出品、「公開制作 vol.2 佐藤朋子 狐・鶴・馬」（長野県立美術館、2022年）など。

永沢碧衣 NAGASAWA Aoi

1994年秋田県横手市生まれ、同地在住。2017年秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻卒業。秋田に在住しながら狩猟免許（第一種銃猟、わな）を取得し、東北の狩猟・マタギ文化に関わりながら“生命の根源”を辿り、“人と生物と自然”の関係性を問う絵画作品を制作している。近年の主な展示に、「VOCA展2023」（VOCA 賞受賞、上野の森美術館、2023年）、「シン・ジャパニーズ・ペインティング」（ポーラ美術館、2023年）、個展「霧中の山に抱かれて」（阿仁公民館、2021年）など。

開催概要

プロジェクト名：	弘前エクステンジ#06「 <small>しらかみのぞきみこう</small> 白神観見考」
会期：	2024年4月6日（土）－2024年9月1日（日）
会場：	弘前れんが倉庫美術館、HIROSAKI ORANDO、ギャラリーまんなか 他
開館時間・休館日：	美術館内での展示は美術館に準じる 美術館外での展示は会場ごとに異なる
観覧料：	未定
主催：	弘前れんが倉庫美術館
一般問合せ：	TEL：0172-32-8950

美術館について

弘前れんが倉庫美術館は、明治・大正時代に酒造工場として建設された煉瓦造の建物を「記憶の継承」をコンセプトに改修し、2020年に開館した現代美術館です。黒いコールタールの展示壁や高さ15mの吹き抜けなど空間の特性を生かした現代アートの展覧会を開催しています。館内では奈良美智やジャン＝ミシェル・オトニエルをはじめ国内外のアーティストのコレクション作品を展示するほか、ライブラリーや貸出スタジオを備えています。また、シールド工房を併設したカフェ、ミュージアムショップが隣接しています。



©Naoya Hatakeyama

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

2023年11月6日

弘前れんが倉庫美術館 E-MAIL: press@hirosaki-moca.jp / FAX: 0172-55-5982 宛

弘前れんが倉庫美術館
「蜷川実花展 with EiM：儂くも煌めく境界」

会期：2024年4月6日（土） - 9月1日（日）

広報画像申請書

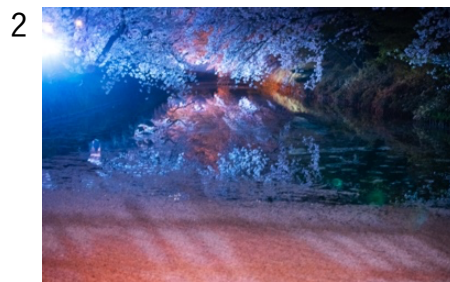
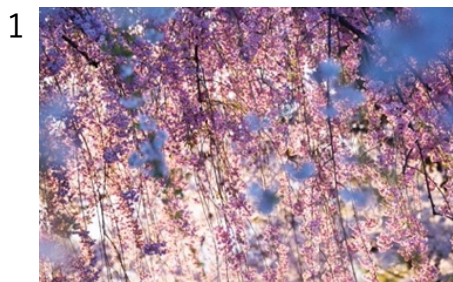
▼貴媒体についてお知らせください。

媒体名	貴社名	
ご担当者名	所属部署	
ご住所 〒		
TEL	FAX	E-MAIL
掲載・放映予定日	月	日

読者プレゼントのご希望 希望する 組 名様 (2024年4月末日迄 掲載対象) 希望しない

*画像1点以上ご掲載の場合、本展の招待券10枚まで提供します。 / 美術館までの交通費は自己負担のご案内をお願いします。

ご希望画像の番号に○印をつけてください。ご使用の際は、所定のキャプション・クレジットの記載をお願いします。



▼広報画像クレジット

- 参考図版 蜷川実花《Untitled》2022年
©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery
- 参考図版 蜷川実花《Untitled》2023年
©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery
- 参考図版 蜷川実花《花、瞬く光》2022年
©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery
- 参考図版 蜷川実花《残照》2023年
©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

<広報画像の取り扱いについて>

- 広報画像の使用は展覧会をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。
- 広報画像をご掲載いただく場合、所定のキャプション・クレジットを必ず記載してください。
- 全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせはご遠慮ください。
- 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、可能な範囲でゲラ刷り・原稿の段階で広報までメールまたはFAXでお送りください。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

2023年11月6日

弘前れんが倉庫美術館 E-MAIL: press@hirosaki-moca.jp / FAX: 0172-55-5982 宛

弘前れんが倉庫美術館
弘前エクステンジ#06「白神視見考」

会期：2024年4月6日（土） - 9月1日（日）

広報画像申請書

▼貴媒体についてお知らせください。

媒体名	貴社名	
ご担当者名	所属部署	
ご住所 〒		
TEL	FAX	E-MAIL
掲載・放映予定日	月	日

読者プレゼントのご希望 希望する 組 名様（2024年4月末日迄 掲載対象） 希望しない

*画像1点以上ご掲載の場合、本展の招待券10枚まで提供します。 / 美術館までの交通費は自己負担のご案内をお願いします。

ご希望画像の番号に○印をつけてください。ご使用の際は、所定のキャプション・クレジットの記載をお願いします。



▼広報画像クレジット

1 参考図版 狩野哲郎《1本で複数の木》2021年
Courtesy of the artist photo: Ken KATO

2 参考図版 佐藤朋子《オバケ東京のためのインデックス 序章》2021年
©シアターコモンズ'21 撮影：佐藤駿

3 参考図版 永沢碧衣《村景》2019年
©かみこあにプロジェクト（秋田）

<広報画像の取り扱いについて>

- 広報画像の使用は展覧会をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。
- 広報画像をご掲載いただく場合、所定のキャプション・クレジットを必ず記載してください。
- 全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせはご遠慮ください。
- 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、可能な範囲でゲラ刷り・原稿の段階で広報までメールまたはFAXでお送りください。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1